

令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年10月26日（月）

地区 拓勇地区

会場 沼ノ端交流センター

〈意見交換〉

○司会 続いて、意見交換の時間に移りたいと思います。この時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題等に対する意見交換を中心に、遅くとも午後8時、20時には終了するように進めてまいります。お時間に限りがございますので、お一人につき1件ずつ3分以内を目安に、簡潔にご発言いただきますようお願いいたします。なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、発言を制止し、まちかどミーティング終了後、個別にお話を伺わせていただくことといたしますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングにつきましては、全体の人数を制限するため、市側の出席者につきましても例年よりかなり少なくなっております。そのため、ご意見の内容によっては、本日この場での回答が難しいものもあると思われまますが、その場合には担当部署に引き継ぎまして、後日、改めての対応となりますことをご了承ください。

なお、発言する際には、最初に町内会名とお名前を述べてからご発言をお願いします。

最後に繰り返しのお願いとなりますが、ご発言はお一人につき1件ずつ3分以内を目安にお願いします。

それでは、ご意見のある方はマイクをお持ちしますので、挙手のほうをお願いいたします。

はい、どうぞ。今マイクお持ちします。

◆市民 拓勇東町内会、XXXXXXXXXXです。よろしくお願いします。

今ちょっと思いついたんですけど、ごみの量のお話がございます、これ、3月、4月、5月、子供たち、給食取りませんでしたよね、学校がお休みで、そのときのごみの家庭からの量というのがどのぐらい増えたんでしょうか、例年に比べて。それで、給食があれば、それは家庭から出ないで給食センターの、要するに業務用のごみとして排出されたものが、給食なかったことで家庭から結局出ているということなんで、そこのところをちょっと、今すぐは無理でも、一応、検証しておく必要があるんじゃないかと。いや、減らしたいのは山々なんですけれども、これぐらいの量と言いましたよね、握り拳一つぐらいのね、だから、それが給食の代わりに家庭で食事を用意する際に出たごみの量とのプラス・マイナスというのをきちんと検証していただきたいなというふうに、今聞いてて思いました。

今度、それと関係なく、拓勇東の、私、七丁目なんですけれども、今年、ごみ箱がすごくすてきなのに変わったんですね。割と細長い縦型の、何メートル、90センチぐらいあるのかな、割と深い形で網でできてまして、上を開けて突っ込んで蓋をするという形で、カラスが絶対入れない、そういうすばらしいごみ箱というか、収集箱に変わりました、ちょうど私、お稽古で札幌の

元町に行くんですけど、そこに置いてあるのとそっくりなんです。だから、どなたか、札幌のごみ箱を見てこっちに持ち込んだのかなと一瞬思ったんですけども、それ普及してほしいなど。今までの底の浅い正方形のごみ箱だったら、蓋しておいてもごみが山になって隙間が出るとカラスが入る、そして、ごみを散らかす、集める人も気の毒だなと思いながら見てましたんで、何か細長い網でできたしっかりしたごみ箱を、ごみ箱というか、収集箱をこれから増やしていただけたらなと思ひまして、これ要望です。

○司会 ただいま、3月、5月の家庭ごみの量がどのぐらい変化したのかというようなご質問がございました。

市のほうから回答をお願いします。

◎環境衛生部次長 環境衛生部の鈴木と申します。日頃はごみの減量、リサイクルにご協力いただきまして、ありがとうございます。

ごみの量なんですけども、3月は、今ちょっと手元にデータないんですが、4月、5月のデータでお話しさせていただきたいと思います。4月につきましては、対前年度比、若干少ない状況でした、家庭ごみにつきましては、ただ、2年前の平成30年と比べると多いということで、若干多いと言えます。5月が家庭ごみ増えてます、前年より。ですので、やっぱり、ここら辺は巣籠もりの影響出てるのかなというところなんです。今3、4、5と申しましたが、実は6月、さらに増えてます。ということで、給食の影響というよりも、やはりコロナによる食生活の変化というもの、それと、あと先ほどもありましたけども、特に5月なんかは連休ありましたんで、連休中に皆さん家の大掃除やる方が非常に多かったと思われまして。沼ノ端のクリーンセンターのほうに直接ごみ搬入される方もいらっしゃるんですけども、相当な台数、渋滞状態で並んで、大変待たせていただいて、ご迷惑をおかけしたんですけども、恐らく、そこら辺が増えてる原因なのかなというふうに分析しております。

あと、2つ目のごみ箱については、別の者から回答させますんで。

◎ゼロごみ推進課副主幹 ゼロごみ推進課の瀧上と申します。よろしくをお願いします。

ごみ箱のお話なんですけども、市では、種類としては木製のやつ、あと、折り畳みのステーション、それと、先ほど言われましたのが、最近札幌で普及してるやつなんですけども、それを購入して設置するようにしております。ちょっと数には限りがありますので、どこでも、場所にもよりますし、どこでも設置できるというものではないんですけども、一応、あれを置けるスペースがあるところであれば、随時設置をしてみたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたしますします。

○司会 よろしかったでしょうか。

そのほかにございますか。

はい、どうぞ。

◆市民 北栄町の■■■■といます。

これからなんですけど、冬の時期に、今このたびの通学路ですか、通学路のときに除雪車が間に合わないために道路がアイスバーンになってるのですよ、車通った後ですね、それで、歩道の

白い線、あれが滑るんですよ。それで、何ていうんですかね、場所的にいいですよとね、結構ついているんですけど、私たちのところの信号のところには、砂箱がまだついていないものから、砂箱でもつけてもらいたいと思うんですけど。場所的には、場所は駅前通りなんですけど、駅前通りの信号1つ目の角なんです。ちょうどバスが、朝の9時までには日陰なんですよ、9時過ぎれば、道路が太陽さんが出てきますので解けるんですけども、それまで子供たちが7時半頃、学校に通うために、結構滑るんです。だから、なるべく、もしあれだったら、砂箱をつけてもらいたいと思って、一応、要望しようと思ったんですけど、よろしくお願ひしたいと思ひまして。

○司会 市のほうから回答お願ひします。

◎道路維持課長 私、道路維持課の小西と申します。いつも本当、道路のほうの関係で、皆さんにご協力をいただいて、誠にありがとうございます。

今の除雪の関係で、滑るところがあるということで。砂箱、駅の前にも、一つ置いてあるんですけども、今言われた場所ですね、改めて置ける場所を確認して設置する方向で考えていきたいと思ひますので、後で場所等の確認させていただくということで。終わった後、場所、もう一度確認させていただきます。ということで、設置のほうに向けて、努力したいと思ひますので。

○司会 ほかにございますか。

はい、どうぞ。

◆市民 ウトナイ町内会の■■■■と申します。よろしくお願ひいたします。

今回、ウトナイ町内会のほうから要望事項で出させていただいております件で、1点、ちょっとお願ひをしたいのがございます。要望番号2番のJR千歳線の線路進入防止柵の設置について、継続ということなんですけれども、ここにつきましては、立入禁止の立て看板が線路沿いに3か所、設置をしていただいたということでお聞きをしております、これにつきましては、本当に対応していただきまして、感謝を申し上げたいというふうに思ひます。

ただ、この看板設置による進入防止対策の効果を見極めたいということでもありますけれども、もう既にこの線路沿いには住宅がもうどんどん立ち並んできているところでありまして、さらに、できれば進入しないようにということで、大体、柵がないところが1、000メートルぐらい、1キロぐらいちょっとあるようなぐらい、ちょっとかなり長くなっているような場所でもありますので、住宅が張りついてきて、そして小学生、さらには学校行く前の就学前の子供たちも増えてきているということもありますから、間違っ、そちら線路のほうにやはり入っていかないように、何とかこの柵を設置をしていただきたいというふうに考えています。市だけの取組ではなくて、またJRとも協議をしていかなければならないような部分だというふうに思ひますし、非常にJRさんの現状を見ると難しいという状況も分かりますけれども、子供たちの安全も含めて、ぜひとも早急に柵の設置をお願ひしたいというふうに思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

○司会 市のほうから回答お願ひします。

◎まちづくり推進室長 総合政策部まちづくり推進室で交通を担当しております柴田と申します。よろしくお願ひいたします。

こちらの事前要望で回答いただきましたことをJRのほうに確認しまして、現時点の回答ということで、今年の3月、看板をつけて、現状を見たいということはJRのほうから回答いただいたところがございます。今本当[]さんもおっしゃってるとおり、最近こちらのほう住宅も増えてきておりまして、安全対策というのは、やっぱり必要なものというふうに市としても考えておりますので、今後、JRとこの件に関しまして、しっかり協議をさせていただきまして、どのようなことができるのか、ちょっと検討させて、協議していきたいというふうに考えております。

以上です。

○司会 ほかにございますか。まだお時間のほうありますけれども。

前の方、どうぞ。

◆市民 拓勇東の[]です。

拓勇東ではほとんど、空き地がだんだん埋まってきている状態になっておりますが、やっぱりその中でも、密集した中で空き地がちょっとあるところは草がぼうぼうで虫が出たりという、近隣の住民が大変迷惑しているということで、何とかならないかというような要望が来ておりますので。具体的な番地、ちょっと思い出せませんが、例えば、拓勇東でいえば一丁目2番地の辺りの空き地が非常に近所の方が迷惑していて、近所の方がもう他人の所有地でありますけども、近隣までちょっと除草をしたり、除草剤まいたり草取りをしてるというような状況と伺っているので、この辺、いろいろ空き地持つての方々に草刈りのあれは市からも出していただいたり、いろんな形でお願いはしてると思いますが、苦情の出てる場所とかは、もう何年もほったらかしというような状況で、この辺に対する草刈りのお願いというか、進め方をちょっと強力にしていたければと思うんですが、その辺お願いいたします。

○司会 市のほうから回答をお願いします。

◎環境生活課長補佐 環境生活課の吉田と申します。よろしく願いいたします。

空き地の草の関係なんですけれども、苫小牧市では6月、8月、9月の年3回に全市の空き地調査を行っておりまして、そこで、空き地の草刈りがされていない所有者に対しましては文書を送付させていただいているところではあります。今おっしゃっていただきましたように、なかなか文書を送っても対応していただけないケースもございます。所有者が苫小牧市の方であれば、直接お会いして指導するというのもあるんですけれども、中には本州の方とかもいらっしゃいまして、なかなかちょっと直接会いに行き指導するというのが難しいケースもございます。やはり草が、伸びがひどい場合に、先ほど害虫のお話もありましたので、市としては粘り強く刈っていただくようお願いしたいと思っておりますし、空き地の草の伸びがひどい場合には現地の写真を添付したり、現地の窮状が、本当に皆さん困っているということで、なるべく強い文面に、徐々に段階的に強くしていくということもしているんですけれども、実態として、なかなか、やはりそれでも刈っていただけないというケースがございます。私たちもこれからどういうことができるのかというのは、また、さらにどういう強力な指導の方法があるのかといったことは検討した中で、しっかりと対応させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにございますか。

◆市民 すみません。同じく拓勇東の[]です。2つ目で、これもお礼です。苫小牧市のプレミアム付商品券、本当にありがとうございました。どなたが企画されたのか分かりませんが、申込み方法といい、それから、1人に2冊までに制限することといい、それから、使えるお店が非常に広いということで、多くの方が購入されて、それも銀行で買うから不公平がないですよ、銀行から買うから引き渡ししてくださるんで、そういう形で、本当に公平に皆さんに行き渡って、有意義に使っていただいていると、私は有意義に使いましたんで、この企画された方に本当に心からのお礼を言いたいと思います。

やっぱり、食べ物をやっている方の話聞きますと、いつもだったら、例えば1人1,000円のもの食べるのが、6割というのはちょっとそなんだけども、5割ちょっと下がるぐらいのプレミアムなんだけども、それでも1,500円のもの食べるというわけ。そしてね、家族4人で行って、少し多めのものを食べて、5,000円払ったと思って、8,000円分のもの、2,000円もの食べてくればいいわけだから、そうやって、どうせ税金から出るものだったら、みんな喜んで、ちょっとぜいたくできて、ハッピーになって、そうやって家族団らんを持てるということで、9月から、結局、コロナと共存で、どんどんみんな町に出て食べたり、買物したりしようねという、そういう気持ちの入替えに物すごく役立っています。ということ信じています。ですから、これ、企画して実行した方に、本当にお礼言いたいんで、褒めてあげてください。

○司会 実行した方が今日来てますんで、感謝の言葉を。

◎緊急経済対策給付金室副主幹 給付金室、由利と申します。

実行したのは、我々の部署であるんですが、企画は市全体で行っていますので、私だけ褒められるのもちょっと恐縮なんで、ここはちょっとあれだと思います。

当初、皆さんに申請書を送らせていただきまして、最大6冊ずつというところを、2冊というところでご勘弁していただいたというところもございますので、そこは、ちょっと見込みというところも、前回の27年というところも参考にさせていただいたもんですから、そういったところも、こういう状況を見ながらというところも、今後もし機会があれば、こういうところを参考にして、検証しまして実施したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

◆市民 どうもありがとうございました。

○司会 ほかにございますか。

はい、後ろの方。

◆市民 拓勇西の[]です。よろしくお願いします。

要望書に出したんですけども、学校のフェンスなんです、高くしなくてもいいんですけども、バックネットみたく内側に入れるような形にはできないんでしょうかね。石も飛んできて、うちは2回、フロントガラスが割れたり、ひびですね、割れじゃなくて、ひびが入ってるし、結構、グラウンドの近くのところにサッカーボールが飛んできて、被害に遭ってるし、うち、アルミサイディングなので衝撃に弱くて、ぶつかったところ、引っ込んでるんですよ、実際に。隣の人とか向かいとか日中いなくて、中学生が来てて、放課後ですか、遊びに来てて、ボール蹴っ

て、それをぶつけても知らんぷりして取りに来たり。1回、教育委員会のほうにお電話しましたら、放課後は責任取れないということで、そのぶつけた子をつかまえて、親に弁償してもらってくださいと言われたんですけど、びっちり見張ってるわけにいかないし、そういうのはちょっと無理なんですよね。だから、ほかの何か町内会で、公園があつて、やっぱり風とか強いときにネット張りますよね、だから、網目を細かくしなくても、ネットを張ってもらって、石が飛ばないようにしてもらおうとか、結構、新学期になったら子供がネットを通るかどうとか投げてきたり、ひどいときはゴルフのボールとか飛んでくるときあるんですよね、投げて。だから、ちょっと、そこをもう少し考えてほしいなと思います。よろしくお願いします。

○司会 要望番号の1番の関係について、市から回答をお願いします。

◎教育部長 教育部長の瀬能と申します。

大変ご迷惑をおかけして、申し訳なく思ってます。拓進小学校のこういった状況というのは、私どもも担当のほうから聞いておって、先日、私も現地のほう確認させてもらいました。やはり、道路の脇とかに石とか砂とか細かいものが、結構散乱してる状態なんです。ですから。それを防ぐために、今ご提案のあつた、ちょっと細かい網目のネット張るとか、そういったことをひとつ検討させてもらいたいなというふうに思っています。

あと、ボールが飛んできて家等に被害を与えるということは、例えば授業中であれば、先生がついてるのでそういったことはないんですけども、多分、放課後、ほかの学校の生徒がグラウンドで遊んでる、拓進小の生徒が遊んでる。またさらには、ここ、学校開放事業といって少年団が使ったり、そういうの、ほかのいろんなチームが使ったりとかしてますので、そういったチームとかには早速注意のほうの連絡はしました。ですので、その辺は気をつけてもらえると思うんですけども。あと、放課後ですね、あと、近隣の中学生とかいますので、それは該当校に対して注意するように、校長、教頭にも指示をしたいというふうに思ってますので、よろしくお願いしたいと思います。

◆市民 すみません、あと、ボール蹴ってフェンス超えると、急に取りに来て引かれそうなこともあつたんですよね。だからちょっと、そういうのもあるので、ちょっと本当気をつけてほしいな。子供に事故があつてからじゃ遅いので。

◎教育部長 そうですね、その辺も含めて、ちょっと検討させてもらいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会 ほかにございますでしょうか。

それでは、ないようでしたら…。

どうぞ。

◆市民 では、ないようですので、もう一つだけお願いがあります、要望があります。

ちょっとコロナの関係があるのかなのか、ちょっとこの辺も微妙なところでありますけれども、ウトナイの地域はちょっと不法投棄、今日、ゼロごみの関係もありましたので、不法投棄ですとか、本当に車からごみを捨てたりとか、こういうようなことが、住宅が張りついていない土地もちょっと多いもんですから、そこに捨てられているごみというのが結構多くなっています。そ

して、ちょっと目立つような形になってます。いろいろ市の担当者のほうも看板等々設置をしていただいたり、対応はしていただいているところではあるんですけども、なかなか一向に解消されない、改善されないというのが、実は、実態になっています。道路も、細い道路なんですけれども、最近はそのに車を止めに行くために住宅街を結構大型のトラックも走ってきて、住宅のないところに止めて、多分休憩をされているんだというふうに思いますけども、そこで、ちょっとコンビニで買ったようなごみを袋に入れて捨てたりとか、また、ちょっと汚い話になりますけれども、ペットボトルも捨てるんですが、いろいろ町内の方も拾っていただいて、ペットボトルそのまま捨てられないので、中身も入ったものがありまして、中身を捨てると、これが、ちょっと尿が入っていたり、かなり臭くて、何だこれはということで、多分おしっこだというふうに思いますけども、こういうようなものも実は捨てられているという、こういう実態が実はあります。

何とか、注意喚起の看板だけでは、実は現状、やはり改善できないなというところもありますので、例えば、暗がりであれば防犯灯をつけたりですとか、また、防犯カメラ的なものもつけたりですとか、いろいろなことをやっていかないと、本当に打開できないなというふうにちょっとこの辺を心配してますし。地域住民の方々は、せっかく自分たちでゴミを拾って、きれいにしたのに、もう二、三日もしたら、またもうゴミだらけになってるという、こういうような状況が続いているということで聞いてますから。多分、これはウトナイだけのことではないと思いますし、市内全域のことでもあろうかなというふうには思いますので、ぜひ、今年、ゼロゴミステージ5ということでもありますから、この不法投棄ですとか、もう本当に勝手に捨てられているようなそういうゴミの散乱を、いろんな各方面にも注意喚起していただいて、ドライバーのモラルの問題もあるんだというふうには思いますけれども、何とかこれを、もうゴミを捨てさせないようなきれいな町にしていくんだという、そういうような形で取組を何とかしていただきたいなというふうに思いますので、これ1点だけ要望したいというふうに思います。

○司会 市のほうから回答をお願いします。

◎環境衛生部次長 ただいまごみのポイ捨てのお話いただきました。長年、ポイ捨て対策ということで、我々も看板設置ですとか、あといろいろ対策打ってきてるんですが、なかなか、やはり、今ほどおっしゃられたポイ捨てされる方のマナー、モラルの問題ということで、抜本的な解決には、なかなか難しい状況であります。

さきの議会の中でも質疑にありましたけども、いろいろ、監視カメラを設置したらいいんじゃないかとか、そういったご提案もいただいています。これが住宅地の中ですとなかなか、プライバシーの問題もあるというところで、なかなか設置できないと。それとあと、たとえつけたとしても軽微な違反ということで、警察のほうでも取り上げていただけないということも伺ってます。

そんな中で、ちょっと我々、今考えてるのが、先ほど大型のトラック車からのポイ捨てですとか、あと、尿の入ったペットボトルとかいったもの、こういったもの、全国の事例調べますと、いろいろそういった協会のほうに、トラック協会ですとか、そういった物流業界のほうに協力いただくということも事例としてありますんで、そういったことを今後、我々もちょっと工夫しながらやっていきたいなと思っております。ただ言えることは、最後、捨てる方のモラル、マナー

の問題になってきますんで、できることはやっていきたいと思いますんで、そういったところでご理解いただきたいと思います。

○司会 よろしいですか。

◆市民 あんまりよろしくないんだけど。

○司会 いいですか。

ほかにございます。よろしいですかね。

それでは、これで意見交換終了させていただきます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 いろいろとご意見、あるいはご質問をいただきまして、ありがとうございます。今不法投棄の問題は、僕が市長となった直後、当時は話題が大きかったのは樽前地区だったんですね。やはり、かなり大型の不法投棄等々がありまして、結構、樽前地区の皆さんとも私自身がいろいろ対策について話し合ったこともございました。しかし、これだという対策がなかなか難しい。当時は、これ、その方を責めるとかというんじゃなくて、必ずしも苫小牧市民とは限らないんですね、車で持ってきてあそこで、特に大型の場合に、大型不法投棄の場合には意図的なことでありますので、結構遠くから運んでくる人もいるんだみたいな、樽前地区でずっと監視されてる方もいらしたり、いろんなことがありました。これはドライバーのモラルというよりも、人間としてのモラルということになるわけではありますが、できるだけ我々としては注意喚起を呼びかける、先ほど言いましたように053大作戦、一つは、ごみの減量については、今長い間やってきて、一つは生ごみ対策、もう一つは、やっぱり分別の徹底、2つ目のリサイクル率は、これはやっぱり分別の徹底。町の環境美化は、このポイ捨てと不法投棄をどのように皆さんのモラルをしっかりと刺激できるようなアプローチができるかどうかということが鍵になるんじゃないかというふうに思っています。なかなか難しいことではありますけれども、我々、3つの柱を立ててる以上、町の環境美化を阻害するような行動等についてはしっかりと対応していかなければならないなというふうに思って、逆に何かいいアイデアがあったら、ぜひ声を届けていただきたいなというふうに思います。

最後になりますが、■■■■さんから商品券の話、本当にありがとうございました。まちかどミーティングで何回かご意見いただいたんですが、全部お叱りの声が多かったんです。6枚が2枚になったという、これは、まあ、我々もちょっと27年度のあれを参考にしてやって、こんなにオファーが多いというのは、僕自身がびっくりすることがありました。もう一つは、60%のほうは先にばあっと走って売れるかなと思ったら、逆だったんですね。やっぱり20%のほうは皆さんやっぱり興味を持たれてきた。しかし、例えば家族3人いるから18枚っていても、結果的には10枚しか買わないという、そういうのが以前にやったときにはありまして、今回は6枚が申し訳なかったけど2枚ですから、事業効率としては、今回のほうが数段高いんじゃないかと思います。本当は、補正で、またその部分をやったらいいんじゃないかという意見もあったんですが、印刷して準備するまでに1か月半かかるんですね。お尻が2月7日、決まっているもので

すから、そこはおわびをしながら市民の皆さんには買っていただいた商品券を100%使っていただくということが今回の取組の最大のポイントでありますので、そちらのほうでこれからも使うのを忘れずに、ぜひ100%使っていただきたいなというふうに思います。

それやこれや、また、これからももし何かございましたら、町内会長さんを通じてでも、市会議員を通じてでも結構ですので、それがちゃんと、これが届いてちゃんとやったら、市役所が褒めていただければいいし、できなかつたら市会議員が悪いというふうに。ぜひ、それやこれや、我々もいろいろな課題がありますけども、しっかりと一歩一歩確実に、しかし楽しい町をつくっていくということは我々のミッションでありますので、これからも皆様方の声をお聞きしながら、しっかりと取り組んでいくということをお誓い申し上げまして、最後のご挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。ご帰宅後には手洗い、うがいを徹底していただきますようよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。